

政府が職場や大学などでの

新型コロナウイルスのワクチン接種を

可能とする方針を示したことを受けて、

近畿大学は

学生や教職員など、およそ2万8000人を対象に

今月21日の週から

キャンパス内で接種をはじめると発表しました。

新型コロナのワクチンについて政府は

今月21日から職場や大学などでの

「職域接種」を可能とする方針を明らかにしています。

これを受けて近畿大学は、今月21日の週から

東大阪市のキャンパス内にある施設で

ワクチン接種を始めると発表しました。

対象は、大学生や大学院生2万5000人と

教職員3000人のあわせて2万8000人です。

接種を担う医療従事者は大学側で確保する必要がありますが、

医学部や附属病院などで教職員を務める

医師や看護師をあてるといことです。

近畿大学は、

「学生や教職員のワクチンの早期接種を実現し、

早い時期での対面授業の全面的な再開を目指したい」としています。